

各種感染症リスト

	病名	潜伏期間	感染可能期間	主な症状	登園基準
1	インフルエンザ (様疾患)	1～2日	感染後約10日	発熱、全身倦怠、筋肉痛、鼻カタル、咽頭痛、咳	発症後5日、かつ、解熱後3日を経過するまで
2	新型コロナウイルス	1～15日 (平均5日)	発症の2日前から発症後7～10日間程度	発熱、鼻水、喉の痛み、せきなどの呼吸器症状や、嗅覚異常や味覚異常	発症後5日を経過し、かつ、症状が軽快した後1日を経過するまで
3	百日咳	6～15日	感染後約3週	発作性咳の長期反復、持続	特有の咳が消失したとき
4	はしか(麻疹)	10～12日	発疹出現の前後4～5日	上気道のカタル、発熱、粘膜疹コプリック斑	発疹に伴う熱が下がった後、3日を経過し元気が良いとき
5	おたふくかぜ (流行性耳下腺炎)	14～24日	明らかな症状を示す7日前からその後9日続く	発熱、耳下腺、舌下線、顎下線の腫脹及び圧痛	耳下腺の腫れが消失し、かつ全身症状消失するまで
6	三日はしか(風疹)	14～21日	発疹出現の前後7日間	種々の発疹、軽熱、リンパ腺腫大	発疹が消失したとき
7	水ぼうそう(水痘)	11～20日	水疱発現前2～後6日	軽熱、被覆部に発疹、斑点丘疹状→水疱→顆粒状痂皮	すべての発疹が痂皮(かさぶた)になったとき
8	プール熱 (咽頭結膜熱)	5～6日	潜伏期後半～発症後約5日間	発熱、全身症状、咽頭炎と結膜炎の合併症	解熱し、主要症状がなくなった後、2日を経過してから
9	流行性角結膜炎	1週間以上	発病後約2週間	軽熱、頭痛、全身倦怠、結膜の炎症、眼瞼浮腫、目やに	治癒するまで
10	急性出血性結膜炎	1～2日	発病後約4日	流涙、結膜充血、眼瞼浮腫、滲出液	治癒するまで
11	ヘルパンギーナ	2～7日		高熱、咽頭痛、咽頭に水泡	解熱し、食事も充分できて元気になったとき
12	手足口病	2～7日	水疱消滅まで	感冒様症状、手足口に赤斑→水疱	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく普段の食事が取れること
13	りんご病 (伝染性紅斑)	17～18日	14～20日	顔面赤斑とくに頬部の赤斑性発疹	感染力はないので、元気がよければ登園可能
14	溶連菌感染症	2～4日	潜伏期後半～発症後約7日間	発熱、咽頭痛、扁桃腺炎、莓舌、頸部リンパ節炎全身に発疹	有効治療を始めてから2～3日たって

15	乳児嘔吐下痢症 (ロタウイルスによるもの)	不定期		発熱、下痢、嘔吐	主な症状が殆ど消失し、主治医が登園して差し支えないと認めたとき
16	感染性胃腸炎(小型球形ウイルス・SRSV)	1~3日		発熱、腹痛、下痢	主な症状が殆ど消失し、主治医登園して差し支えないと認めたとき
17	マイコプラズマ肺炎(うつる肺炎)	10~24日		咳、発熱、呼吸困難(重症の場合)	症状が改善し、元気であれば登園可能
18	突発性発疹	約10日		高熱、3日後に全身に発疹	主な症状が殆ど消失し、主治医が登園して差し支えないと認めたとき
19	ヘルペス性菌内口内炎(単純ヘルペス感染症)	2日~2週間		口内炎症	症状が改善し、元気であれば登園可能
20	RSウイルス	4~5日		鼻汁、咳 38~39℃の発熱 特徴的な病像は細気管支炎、肺炎	呼吸器症状が消失し、元気が良いとき
21	とびひ(伝染性膿痂疹・皮膚化膿症)	2~10日	水疱消滅まで	主として豆つぶ大の水痘	他人への感染のおそれがないと医師が認めたとき 首から上(顔や頭)の場合は完治するまで休園
22	水いぼ(伝染性軟属腫)	14~50日		球状のいぼ	他人への感染のおそれがないと医師が認めたとき